

文京区 が取り組む チームオレンジお助け隊事業 について

もの忘れや認知症があっても自分らしく地域で活動し続けることができる！
～「認知症にやさしいまち文京区」を目指して～

令和7年12月12日（金）

文京区 高齢福祉課 認知症施策担当

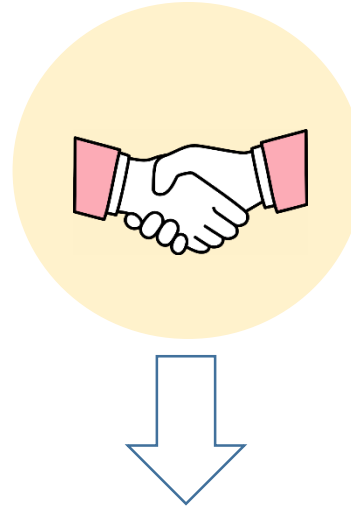
1. これまでの経緯と事業の概要

文京区 (高齢福祉課認知症施策担当)

(課題)

- 「チームオレンジBunkyoサポーターによる認知症にやさしいまちづくり」の推進
- 認知症のある人の**社会参加の場**の創出
- **認知症**への**理解**や**地域共生**に係る**啓発**をさらに強化していきたい。

連携・協働



文京区シルバー人材センター

(課題)

- 認知症の初期段階にある方は日々の様々な不安から地域とのつながりが消極的になりかねない。
- **就業** (※1) 活動を通じて、**社会貢献**や**働く喜び**を思い起こしていただきたい。

(※1) 臨時的・短期的・軽易な仕事に従事すること

令和7年度重点施策

チームオレンジお助け隊事業 (※2) 通称：エルジョリコ

【事業概要】


- シルバー人材センターと連携し、区内の事業所から受注した仕事をシルバー人材センターの会員 (**認知症の症状やもの忘れ等の不安がある会員**と**サポーター会員**) がペアやグループになり、『**チームオレンジお助け隊**』として仕事を行う。
- 区はシルバー人材センターに対し、実績に応じて助成金を交付する。





(※2) エルジョリコ (eljoreco) …エルダー (elder: 年長者・先輩)、ジョブ (job: 仕事)、リコレクション (recollection: 回想・記憶) を合わせた造語

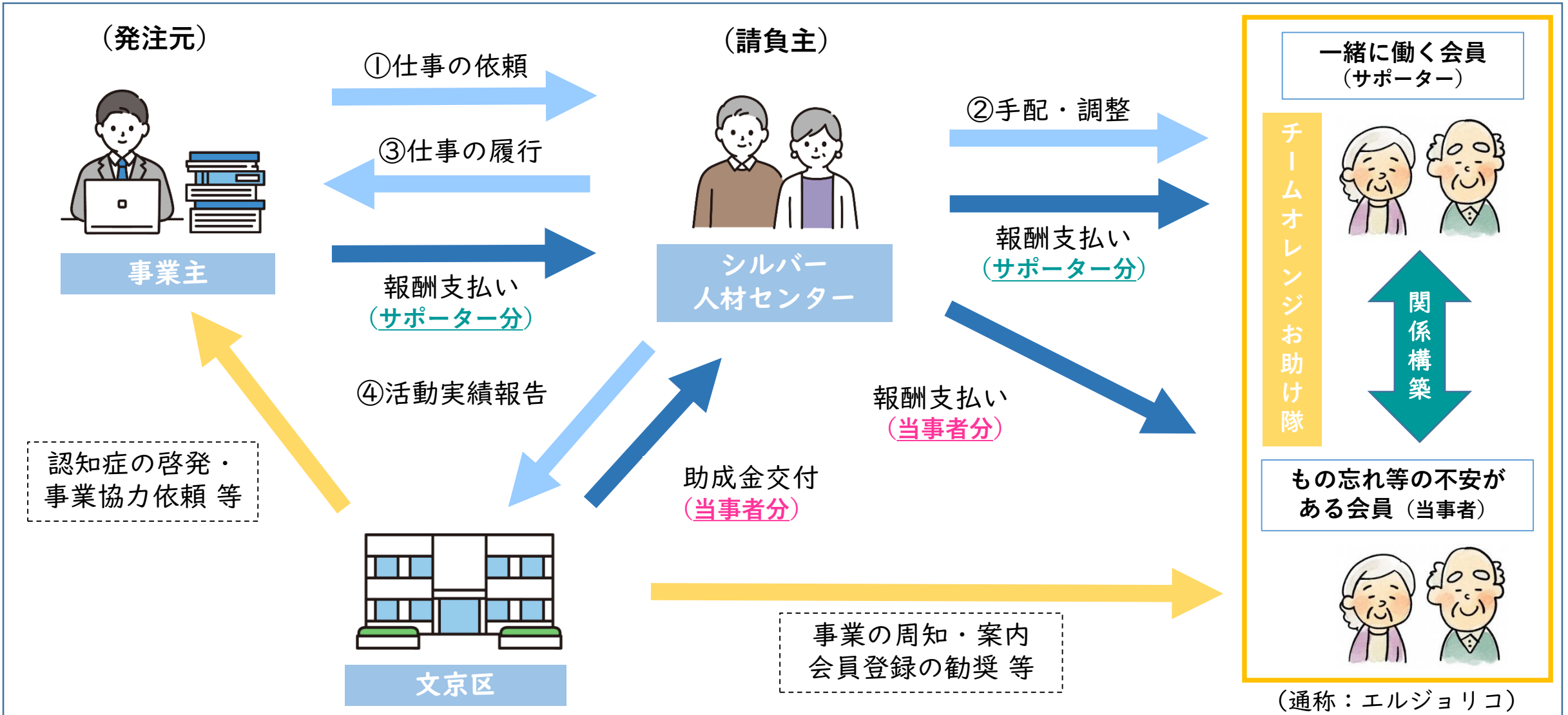
2. 事業スキーム

手続きとキャッシュのフロー

手続き： 

キャッシュ： 

周知・案内等： 



3. 仕事をしたい方への案内・募集

パターン ①

既登録の会員に向けた案内

- これまで就業実績のある会員にチラシ送付
- もの忘れの症状が見られる会員やMCIの診断を受けた会員へ個別に案内



『チームオレンジお助け隊』活動へ参加を希望された方 (例)

(パターン①)

60代男性

児童交通指導の仕事をしていたが、就業仲間からもの忘れについて心配される。元々の業務継続が難しくなったが、この事業を紹介すると明るく前向きになる。



『チームオレンジお助け隊』の活動登録

パターン ②

新規の方 (未登録の方) へ案内

- 認知症カフェや本人交流会に来ている方へ案内
- 地域包括支援センターが関わりのある方へ案内
- 認知症サポート医等の医療機関に案内の協力を依頼



(パターン②)

80代女性

要介護1、週1回デイサービスに通所。就業意欲はあるが、家にこもる生活で認知機能の低下が懸念されていた。家族会に参加していた息子経由でこの事業を紹介。



▼登録案内チラシ

文京区 令和7年度 チームオレンジお助け隊事業

最近、もの忘れが気になるけど...まだまだ **地域** で **活躍したい方** を大募集!

一緒に **地域貢献** しませんか?

【募集する方】

- 少しもの忘れが気になる
- 仕事の段取りで戸惑う
- 一人で仕事をするのは不安
- まだまだ地域貢献したい!

という志をお持ちの60歳以上の方

【仕事内容など】 (予定)

- 簡単な事務作業
- 掃除、清掃、除草のうち一部の軽作業(※)

(※) 体力的に厳しい仕事をすることはありませんのでご安心ください。

【安心できる3つのポイント】

- ① 選任サポーターが付き、一緒に仕事をを行います。
- ② 就業前日にリマインド連絡や職場へ同行などサポート(※)をします。(※)ご希望に応じて実施します。
- ③ 無理なく、自分のペースで働けます。

【報酬】
1時間あたり 1,226円以上
まずはお気軽にご相談ください。あなたの笑顔と経験を活かせる場所がきっとあります!

仕事を行うまでの流れ

もの忘れ等のある60歳以上の方 → シルバー人材センターに会員登録 → 選任サポーター(60歳以上)と一緒に行うお仕事の紹介 → 選任サポーター(60歳以上)と一緒に行うお仕事の紹介 → チームで楽しくお仕事をしましょう!

【担当・お問い合わせ先】

- 公益社団法人 文京区シルバー人材センター 担当: 花城・中村
☎ 03-3814-9248 ✉ bunkyo@sjc.ne.jp
- 文京区 高齢福祉課 認知症施策担当 担当: 片野・伊藤
☎ 03-5803-1821 ✉ b301000@city.bunkyo.lg.jp

4. 区内事業所への周知・受注開拓

①

企業に向けた案内

- シルバー人材センターの取引先への案内
- 社会福祉協議会の「企業地域連携推進ネットワーク会議」「企業ネット通信」による周知
- 区（高齢福祉課認知症施策担当）の事業で協働している企業へ個別に訪問



③

医療機関に向けた案内

- 認知症サポート医等の医療機関へ周知
- 区中央部認知症疾患医療センターへ個別に訪問（順天堂大学医学部附属順天堂医院）



仕事の受注獲得

実績

- 区内企業 1社

（令和7年11月末時点）

現在、区内大学からの受注開拓に注力しています。

②

大学に向けた案内

- 区内大学「地域連携担当者会議」での周知
- 地域連携担当者会議をきっかけに各大学へ個別に訪問



▼説明項目

- (1) 事業の目的・概要
- (2) 事業スキーム
- (3) 受けられる仕事（例）
 - ① 簡単な事務作業
封入作業、書類セット、
スタンプ押しなど
 - ② 除草や清掃
 - ③ イベント時の簡単な受付
出欠確認、会場案内など
 - ④ その他の簡易なお仕事
- (4) 事業所に負担いただく費用

→この事業への理解を得られるよう丁寧な説明を心がけています。

▼事業所向け案内チラシ

文京区 令和7年度 チームオレンジお助け隊事業

もの忘れや認知症があっても地域で活動し続けることができる！
～認知症にやさしいまち 文京区 を目指して～

区内の事業所様からの
お仕事を募集しています！

チームオレンジお助け隊事業とは	事業の目的と効果
文京区シルバー人材センターが区内の事業所から仕事を受注し、請け負った仕事を人材センターの会員（もの忘れ等がある会員とサポートする会員）がペアやグループになって、チームとして一緒に仕事を行う活動です。	● もの忘れや認知症があっても、自分らしく、いきいきと活動できる多様な社会参加の場を創出します。 ● 個性や能力を発揮できる仕組みをつくることで、認知症の理解を広げて、温かい地域社会の実現につなげます。

詳細は裏面をご覧ください。

担当・お問い合わせ先
公益社団法人 文京区シルバー人材センター
〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 文京シビックセンター4階
☎ 03-3814-9248 ✉ bunkyo@sjc.ne.jp

※ 本事業は、文京区と文京区シルバー人材センターの協働により実施しています。

5. 就業活動の様子と成果

令和7年11月～

『チームオレンジお助け隊』の活動開始

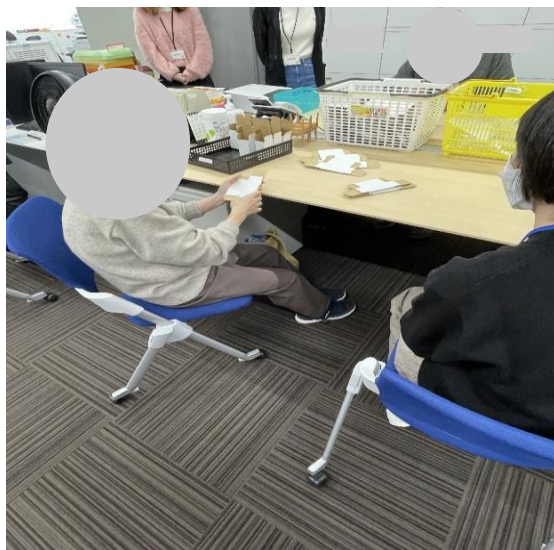
※サポーター会員

認知症サポーター養成講座を受講済みで、業務に精通した方（認知症サポーターステップアップ講座の受講も勧奨）

就業活動の様子（室内での軽作業）

安心して就業するための One Point

- 1 サポーター会員（※）が**一緒に**仕事を行います。
- 2 必要に応じて、サポーター会員が就業前日に**リマインド連絡**や**職場への同行**等のサポートを行います。
- 3 体力的に厳しい仕事はなく、**無理なく自分のペース**で働ける環境を整えるようにしています。



事業参加者・関係者の声

（当事者会員の方から）

- 仕事ができることが嬉しいです。一つひとつを確認しながらですが、楽しく作業しています。
- 以前、事務作業をしたことがあり、このような仕事は慣れているのでがんばりたいです。

（サポーター会員の方から）

- 近くでサポートできればと思いましたが、仕事はご本人が主体的にされています。
- 休憩時にもコミュニケーションを取っており、今後も安心して働いてもらえたらと思います。

（発注元（企業担当者）の方から）

- 初めての受入れで緊張しましたが、丁寧にテキパキと仕事をしてもらっています。
- 無理のない範囲で、少しずつ、新しい仕事に挑戦してもらえたらと思います。

6. 課題と今後の展望

見えてきた課題と今後について

① 仕事の受注と仕事をしたい方との「バランス感」

- 働きたい方への情報提供や会員の意向を踏まえた就業ニーズへの対応
- 区内の事業所に対する受注の開拓 → 社会参加や『地域共生』についての理解促進

② 就業定着に向けた環境・機運の醸成

当事者会員とサポーター会員がお互いに『支え合い・寄り添い』ながら、ともに地域で長く就業できるようにするための環境・機運の醸成

③ 就業が難しくなった後の「地域とのつながり」づくり

チームオレンジお助け隊として活動継続が困難になった場合の地域包括支援センターその他の社会資源とつながる機会の提供

④ さらなる認知症施策の発展

「認知症にやさしいまち」の実現に向けて、『新しい認知症観』の周知啓発を軸に区内の企業や大学との協働による+α（プラスアルファ）の活動を検討・考案

